



「足で捜せ！」の鉄則

市嶋紀夫さん

新潟日報社
巻支局長

新聞づくりの
プロからの提言

四半世紀にわたって、一回の休みもなく三百号記念を迎えられたことに対して、衷心より祝福を申し上げるとともに、歴代の広報マンの営々たる尽力に敬意を表します。

昭和三十五年の新生・岩室村発足から二年後に、うぶ声をあげた第一号を拝見しますと、「よりホットで身近かな村政ニュースや村の出来事などをみんなに分かりやすく提供することによって旧三村民の相互親睦・融和を目指す」との意気込みが、ひしひしと感ぜられる。私事で恐縮だが、その第一号の中央部に時局講演会のお知らせ欄があり、講師は成沢猛・新潟日報編集局長と、筆者が入社ホヤホヤだったころの「鬼局長」の名前を見出し、懐旧の念に耐えない。

当時はカメラも未だ貴重品だったこともあってか、掲載写真も顔写真が二枚だけとやや寂しいが、それが四十五年の百号には七枚、五十三年の二百号には二十一枚と、日本の経済成長につれて広報に載る写真の枚数のみならず、写っている人たちの服装などが豊かになっていく姿も興味深いものがある。

直近の二九九号には、表紙から終頁まで大小三十二枚もの写真をちりばめ、レイアウトも斬新で、見て楽しく読んだためになる村民本位の広報となっており他町村関係者の評価も高く、日常の取材上大いに参考にさせて頂いている。

殊に好評なのは、貴重な「秘蔵写真館」と表紙の「みてある記」で、新聞記者や広報マンに共通の「足で捜せ！」の鉄則を見事に貫いている姿勢は賞讃に価するものがある。最後に注文を一つ言わせてもらおうと、細かなお知らせ欄は一括して別刷りにでもすれば便利だと思ふ。

おかげさまで広報いわむろは創刊から25年通巻300号

時は流れる

きょうから変身——てなことはないけど、創刊から25年。通巻 300号は広報いわむろにとっても、ひとつの区切りかもね。べつに落ちついてしまうってことじゃないし、すっかり角が取れてしまうことに反発もあるし。ま、見ててくださいよ。これからの広報、出来そうなんだ——。と、歴代担当者の独断専行と偏見で発行してきた17広報いわむろも今号で通巻 300号。人なら25歳を迎えました。そこで今号は、「300号記念特集」と勝手に銘打って、公費を有効？に使い、10ページにわたる特集を取りました。第1弾は「プロの目から見た広報いわむろへの提言」というタイトルで新聞社のみなさんから投稿を、第2弾として村外で活躍している本村出身者のみなさんから投稿してもらった「ふるさとへの便り——どっこい、ふるさとは生きている。を一挙にご紹介します。続く第3弾は、「広報を支える人たち、——ということで、目の不自由なみなさんのため毎月ボランティアとして「声の広報・点字広報」を作っていた



ている二人の方のご紹介です。ついであってわけじゃないけど、広報創刊の昭和37年からのミ二年表（広報から捨ったもの）をおまけに付けましたのでご覧ください。「えっ、なんでですか？もっと地元の村民の声を出したら……」というささやきが、あちこちで聞こえるようですが、今号はご勘弁を——。それでは、いよいよスタートします。

51 50 49 48 47 46 45 44 43

- 2月 第三回村長・村議会議員選挙——村長に横山喜八郎氏当選
- 4月 岩室小学校統合完了（旧岩室中学校校舎を使用）
- 5月 第一次岩室村総合開発審議会発足
- 8月 第一回村民大運動会開催（昭和50年まで毎年開催）
- 1月 村の実行目標を制定。44年は「時間を守ろう」が決まる
- 8月 弥彦山有料道路の愛称が「弥彦山スカイライン」と決定
- 10月 間瀬漁港の灯台が点灯——海の安全を守る
- 4月 県下初の有料道路「弥彦山スカイライン」がオープン
- 4月 岩室村区長会が発足
- 10月 石瀬の老人憩いの家「静閑荘」がオープン
- 4月 公民館の公営結婚式がスタート
- 8月 間瀬銅山跡地に「越後七浦観音」が開眼
- 2月 第四回村長・村議会議員選挙——村長に横山喜八郎氏再選
- 4月 村の木が住民投票の結果「月桂樹」に決定
- 6月 消防岩室分署庁舎完成——署員11人が常駐
- 4月 村内の電話がダイヤル式となる
- 7月 水道第一次拡張事業で吉田浄水場から送水開始
- 7月 第一回青年県外派遣事業がスタート（三重県へ6人派遣）
- 2月 岩室村史発行（限定二千部）
- 6月 越後七浦シーサイドライン間瀬——野積間5.3キロ開通
- 7月 村初の地域子ども会組織として間瀬子ども会発足
- 4月 中央保育園が橋本地内に新築完成
- 4月 第五回村長・村議会議員選挙——村長に金子誠一氏当選
- 7月 越後七浦シーサイドライン全線開通（角田——野積間）
- 3月 岩室村自然休養村管理センター「白岩」が間瀬7区に完成
- 5月 県住宅供給公社の和納三田団地（現12区）の分譲開始

42 41 40 39 38 昭和 37年

- 4月 新村建設促進協議会発足
- 5月 村の広報紙「いわむろ」第一号発行（5月12日）
- 6月 ヘリコプターによる農薬の空中散布始まる（航空防除）
- 1月 記録的な「38豪雪」で交通機関大混乱
- 4月 岩室小学校で完全給食がスタート
- 8月 村の老人クラブができる
- 1月 第二回村長・村議会議員選挙——村長に佐藤賢之輔氏再選
- 4月 岩室、和納中学校統合（形式統合で一中学校二校舎制）
- 5月 第一回村政功労者表彰——横山正己さんら三十二人が受賞
- 5月 新栄橋が完成。上川原地区が和納9区の行政区となる
- 7月 塚田県知事が来村。間瀬海岸を「越後七浦海岸」と命名
- 12月 村章制定（佐賀県の佐藤定夫さんの作品を採用）
- 4月 間瀬中学校が岩室中学校に統合、全村一校となる
- 4月 岩室温泉の温泉集中加熱事業開始
- 4月 国道一六号線巻——吉田間完成
- 12月 和納駅舎改築により駅名を「いわむろ駅」に改称
- 1月 田子島・尻引の両地区が合併——「栄」となる
- 7月 役場庁舎を旧和納中学校舎に移転（58年まで使用）
- 7月 東京大学地震研究所弥彦地殻変動観測所が間瀬4区に完成

